

## 学修計画書による学習意欲の確認について(貸与)

「学修計画書」により、日本学生支援機構 貸与奨学金の申請者の学修意欲を確認します。申請者は以下により別紙「学修計画書」を作成し、提出してください。

★学修計画書の評価項目は以下のとおり。

申請のあった学生が、将来、社会で自立し及び活躍する目標を持って大学における学修意欲を有しているか。具体的には、以下の項目により確認する。

### ① 学修の目的（将来の展望を含む。）

- ・学修の目的が明確に述べられているか
- ・学修の目的を自身の言葉で表現できているか
- ・卒業後の将来の展望が述べられているか
- ・社会で自立し、活躍できるようになることが期待できるか

### ② 学修の計画

- ・上記の学修の目的を踏まえ、これまでに何を学び、今後、何をどのように学びたいか等が自身の言葉で述べられているか

### ③ 学修継続の意志

- ・卒業まで学修を全うとしようとする意志があるか
- ・しっかりと学ぼうとする意欲があるか
- ・その他、学修の意欲が十分にあると認められるか

### (参考) 貸与奨学金の学業成績・修学意欲基準

#### (第一種奨学金・併用貸与)

次のア～ウに該当すること。

ア 1年次に在籍する者については、高校等の評定平均値が3.5以上であること。

イ 2年次以上に在籍する者については、所属する学科の上位1/3以内であること。

#### (第二種奨学金)

学修に意欲があり、学業を確実に修了できる見込があること。

ただし、上記に該当する場合であっても、修業年限で卒業又は修了できないことが確定した場合は、支援の対象とならない。



.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

3. あなたは、卒業まで学びを継続し、全うする意志を持っていますか。次の項目の中から該当するものに✓を記入してください。

- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。
- 卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志はない。

上記の①で「卒業まで学びを継続し、全うしようとする意志がある。」を選択した場合、どのような姿勢で学びに取り組もうと考えているかを記述してください。(200～400文字程度)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

注) 記述しきれない場合には、別紙に記述のうえ添付してください。

以下、教職員記入欄

**総合判定結果**

1. から 3. を総合的に考慮して、在学中の学修意欲等が認められるかを判定した結果、
- 在学中の学修意欲等があると認められる。
  - 在学中の学修意欲等があるとは認められない。